

**病院整備計画の変更概要書（地域医療構想調整会議）**

1. 医療機関名

医療法人久幸会 川口きゅうぽらリハビリテーション病院

2. 所在地

埼玉県川口市上青木西1丁目20番6号

3. 所在二次保健医療圏

南部医療圏

4. 開設者の名称及び所在地

医療法人久幸会 理事長 稲庭 千弥子

秋田県秋田市下新城野字琵琶沼124-1

5. 医療機関の現状

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
回復期	回復期リハビリテーション病床	100床	100床	0床
	地域包括ケア病床	70床	34床	36床
	一般病床	10床	0床	10床
計		180床	134床	46床

(平均病床利用率)

回復期リハビリテーション病床	地域包括ケア病床
96.6%	62.1%

※ 直近3ヵ月（R6年7月～9月）の平均病床利用率

## 6. 病床数及び医療機能の変更

(現計画) 整備する病床の機能・病床数

整備計画病床 180床

病床機能区分	医療機能	病床種別	入院基本料/特定入院料	病床数
回復期	回復期リハビリテーション病床	一般	回復期リハビリテーション病棟入院料	100床
	地域包括ケア病床	一般	地域包括ケア病棟入院料	70床
	一般病床	一般	地域一般入院基本料	10床
計	—	—	—	180床

(変更後計画) 整備する病床の機能・病床数

整備計画病床 180床

病床機能区分	医療機能	病床種別	入院基本料/特定入院料	病床数
回復期	回復期リハビリテーション病床	一般	回復期リハビリテーション病棟入院料	140床
	地域包括ケア病床	一般	地域包括ケア病棟入院料	30床
	一般病床	一般	地域一般入院基本料	10床
計	—	—	—	180床

### (1) 計画を変更する理由

#### ア. 病床の開棟状況

第7次地域保健医療計画に伴う病床整備計画については、地域医療構想における将来の必要病床数を基に当院は回復期リハビリテーション病床100床、地域包括ケア病床70床、一般病床10床の計180床を開設する計画としておりました。

しかしながら、現時点では医師、看護師等のスタッフ確保困難から回復期リハビリテーション病床100床、地域包括ケア病床34床の計134床の開設となっています。現在、あらゆる広報媒体等を通じて採用活動を行ってきており医師、看護師等のスタッフ確保に目途がつき令和7年4月に残り46床の開設を行う予定としています。

#### イ. 変更する理由

当院が地域医療の中で期待されることは、急性期病院が本来の機能を十分発揮できるよう地域医療システムの円滑な医療循環に貢献することであり、即ち、当院が急性期病院の後方支援病院として積極的に患者を受入れ、救急患者或いは重症患者を受入

れるための病床確保に繋げることと考えています。

また、当院の回復期リハビリテーション病棟における直近3カ月（令和6年7月～9月）の平均病床利用率は96.6%の状況であること、重症度が高い気管切開状態の患者への対応困難者を含め、回復期リハビリテーション病棟へ入院を希望される患者が、病床満床を理由に入院に結びついていない実態となっています。

この様な状況を踏まえて、全床開棟に向けて残る46床をどのような患者に提供することが地域ニーズに応えることになるのか改めて検討した結果、病床整備計画の地域包括ケア病床40床を回復期リハビリテーション病床に変更する申請を提出させていただきました。

この計画変更への対応として、来年度から重症患者へ対応する医師派遣、看護職員の確保の見通しも立ち、回復期リハビリテーション病棟への入院を必要とする重症患者に対して提供する体制が整いつつある状況にあります。これに加えて、当院は県内の回復期リハビリテーション病院で唯一の心臓リハビリテーションを提供できる病院となっています。現状の急性期病院のみでは退院後の外来心臓リハビリテーションまでは広げられない状態にあり、循環器病対策基本法でも後期回復期から維持期にかけ継続した心臓リハビリテーションを実施する意義が謳われています。また、対象者の高齢化は増加の一途であり、急性期病院から直接の自己退院が困難な症例も多くなり、後方支援病院としての役割も大きくなっています。

このため、当院では急性期病院や地域の循環器クリニックからの受け皿となっており、今後も地域へ周知を図りながら役割を高め、爆発的なニーズ増加が予想される心不全への治療・予防の為に心臓リハビリテーションを提供していきます。また、人材育成についても、全国の回復期リハビリテーション病院としては初めてとなる、日本心臓リハビリテーション学会認定の指導士育成研修施設として申請することを計画しています。

#### ウ. 一般病床を残して地域包括ケア病床を減少する理由

地域包括ケア病床についてはポストアキュートを担う病床だけでなく、在宅医療の後方支援病院として、高齢者等が急性増悪した際に入院対応を行うなど、サブアキュート機能を担うことも必要と考えており、今後も更に地域医療及び介護等との連携を強化することにより、病床利用率の増加を目指します。また、令和5年度第4回南部地域医療構想調整会議での議論は、圏域内の地域医療の大きな課題として、急性期医療を担う病院の転院調整の厳しい実情に関する意見がありました。この様な状況を踏まえ当院としては、ニーズも高く、回復期リハビリテーション病棟への入院を必要と

する重症患者に対して体制を整え、それに応えることが地域医療へ貢献することと判断し、地域包括ケア病床から回復期リハビリテーション病床への計画変更を申請させていただきました。

なお、一般病床10床につきましては、当初計画通りに救急の受入れ病床として、地域医療に貢献すべき早期の実現に向け進めてまいります。

## (2) 整備する病床数の根拠

### ア. 病床数の考え方

(ア) 年間入院患者数増加見込み 180人 (直近6ヵ月の待機患者を基に算出)

180人×平均在院日数68.2日÷365日=33.6床

※ 直近6ヵ月の待機患者に係る紹介元病院

川口市立医療センター40人、済生会川口総合病院24人、戸田中央総合病院5人、川口工業総合病院3人、かわぐち心臓呼吸器病院1人、さいたま市立病院3人、自治医科大学附属さいたま医療センター1人、獨協医科大学埼玉医療センター1人、さいたま赤十字病院1人、秋葉病院1人、TMG あさか医療センター1人、埼玉メディカルセンター1人、東京北医療センター5人、東京北部病院2人、日本大学附属板橋病院2人、帝京大学附属病院2人、東京医科歯科大学附属病院1人、慶應大学附属病院1人、昭和大学附属病院1人、東京大学附属病院1人、順天堂大学医学附属順天堂医院1人、東京女子医科大学附属足立医療センター1人

(イ) 想定する領域及び疾患 180人

a 脳疾患 年間117人

- ・ 脳梗塞
- ・ 脳出血
- ・ 脳塞栓症
- ・ 被殻出血
- ・ 皮質下出血
- ・ アテローム血栓症脳梗塞
- ・ くも膜下出血
- ・ 視床出血
- ・ 慢性硬膜下血腫 等

- b 運動器疾患 年間42人
- ・ 大腿骨頸部骨折
  - ・ 変形性股関節症
  - ・ 頸椎症性脊髄症
  - ・ 腰部脊柱管狭窄症 等

- c 心疾患 年間15人
- ・ 心不全
  - ・ 心臓術後
  - ・ 腹部大動脈瘤 等

- d 廃用症候群 年間6人
- ・ 誤嚥性肺炎
  - ・ 廃用症候群 等

(ウ) 想定する領域及び疾患の医療機関内訳	180人
○ 川口市立医療センター	76人
○ 済生会川口総合病院	44人
○ 戸田中央総合病院	8人
○ 川口工業総合病院	6人
○ かわぐち心臓呼吸器病院	2人
○ さいたま市立病院	8人
○ 自治医科大学附属さいたま医療センター	1人
○ 獨協医科大学埼玉医療センター	2人
○ さいたま赤十字病院	2人
○ 秋葉病院	2人
○ TMG あさか医療センター	2人
○ 埼玉メディカルセンター	1人
○ 東京北医療センター	9人
○ 東京北部病院	4人
○ 日本大学附属板橋病院	2人
○ 帝京大学医学部附属病院	3人
○ 東京医科歯科大学附属病院	1人

- 慶応大学附属病院 1人
- 昭和大学附属病院 1人
- 東京大学医学附属病院 2人
- 順天堂大学医学附属順天堂医院 2人
- 東京女子医科大学附属足立医療センター 1人

イ. 増床する病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能区分	病床種別	入院基本料/特定入院料	平均在院日数	病床利用率
6階	40床	回復期	一般	回復期リハビリテーション病棟入院料	(69日)	(96.6%)
※現在の6階病棟の地域包括ケア病床は2階に移動し、30床で運営を予定						
診療科 リハビリテーション科、整形外科、内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌内科、消化器内科、脳卒中内科、歯科						
患者の受入れ見込み						
※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入						
(増床前)				(増床後)		
一病院一				一病院一		
川口市立医療センター 167人				川口市立医療センター 243人		
済生会川口総合病院 89人				済生会川口総合病院 133人		
川口工業総合病院 57人				川口工業総合病院 63人		
戸田中央総合病院 33人				戸田中央総合病院 41人		
さいたま市立病院 30人				さいたま市立病院 38人		
益子病院 28人				益子病院 28人		
かわぐち心臓呼吸器病院 22人				かわぐち心臓呼吸器病院 24人		
さいたま赤十字病院 12人				さいたま赤十字病院 14人		
秋葉病院 11人				秋葉病院 13人		
獨協医科大学埼玉医療センター 9人				獨協医科大学埼玉医療センター 11人		
東京北医療センター 8人				東京北医療センター 17人		
安東病院 6人				安東病院 6人		
埼玉協同病院 7人				埼玉協同病院 7人		
帝京大学医学部附属病院 4人				帝京大学医学部附属病院 7人		
河合病院 4人				河合病院 4人		
武南病院 4人				武南病院 4人		
日本大学附属板橋病院 4人				日本大学附属板橋病院 6人		

明理会中央総合病院 4人	明理会中央総合病院 4人
蕨市立病院 3人	蕨市立病院 3人
東京医科歯科大学附属病院 1人	東京医科歯科大学附属病院 2人
慶応大学附属病院 1人	慶応大学附属病院 2人
昭和大学附属病院 1人	昭和大学附属病院 2人
埼玉メディカルセンター 3人	埼玉メディカルセンター 4人
赤羽東口病院 3人	赤羽東口病院 3人
板橋中央総合病院 3人	板橋中央総合病院 3人
東京北部病院 2人	東京北部病院 6人
高島平中央総合病院 2人	高島平中央総合病院 2人
埼玉医科大学総合医療センター 2人	埼玉医科大学総合医療センター 2人
東京女子医科大学付属足立医療センター 1人	東京女子医科大学付属足立医療センター 2人
東京都済生会中央病院 2人	東京都済生会中央病院 2人
自治医科大学附属さいたま医療センター 2人	自治医科大学附属さいたま医療センター 3人
越谷市立病院 1人	越谷市立病院 1人
公平病院 1人	公平病院 1人
国際国立医療センター 1人	国際国立医療センター 1人
新座志木中央総合病院 1人	新座志木中央総合病院 1人
赤羽岩淵病院 1人	赤羽岩淵病院 1人
千葉大学医学部付属病院 1人	千葉大学医学部付属病院 1人
東海大学医学部附属病院 1人	東海大学医学部附属病院 1人
東京大学医学部附属病院 1人	東京大学医学部附属病院 3人
府中恵仁会病院 1人	府中恵仁会病院 1人
TMG あさか医療センター 1人	TMG あさか医療センター 3人
さいたま市民医療センター 1人	さいたま市民医療センター 1人
セントマーガレット病院 1人	セントマーガレット病院 1人
武蔵野総合病院 1人	武蔵野総合病院 1人
リハビリテーション天草病院 1人	リハビリテーション天草病院 1人
越谷誠和病院 1人	越谷誠和病院 1人
関野病院 1人	関野病院 1人
牛久愛知総合病院 1人	牛久愛知総合病院 1人
橋本市民病院 1人	橋本市民病院 1人
玉川病院 1人	玉川病院 1人

原町赤十字病院 1人	原町赤十字病院 1人
虎の門病院 1人	虎の門病院 1人
江戸川病院 1人	江戸川病院 1人
国保旭中央病院 1人	国保旭中央病院 1人
埼玉医科大学国際医療センター 1人	埼玉医科大学国際医療センター 1人
三愛会総合病院 1人	三愛会総合病院 1人
順天堂大学医学附属順天堂医院 1人	順天堂大学医学附属順天堂医院 3人
日本医科大学付属病院 1人	日本医科大学付属病院 1人
上尾中央総合病院 1人	上尾中央総合病院 1人
赤羽中央総合病院 1人	赤羽中央総合病院 1人
仙台東脳神経外科病院 1人	仙台東脳神経外科病院 1人
千葉西総合病院 1人	千葉西総合病院 1人
川久保病院 1人	川久保病院 1人
胆沢病院 1人	胆沢病院 1人
東京都立広尾病院 1人	東京都立広尾病院 1人
東京都立墨東病院 1人	東京都立墨東病院 1人
博慈会記念総合病院 1人	博慈会記念総合病院 1人
兵庫県豊岡病院 1人	兵庫県豊岡病院 1人
堀ノ内病院 1人	堀ノ内病院 1人
計 563人 (93.2%)	計 743人 (94.8%)
一診療所一	一診療所一
青木中央クリニック 4人	青木中央クリニック 4人
川口新緑訪問診療所 3人	川口新緑訪問診療所 3人
辻川ホームクリニック 3人	辻川ホームクリニック 3人
杉浦医院 1人	杉浦医院 1人
かがやきクリニック 1人	かがやきクリニック 1人
こむら循環器内科クリニック 1人	こむら循環器内科クリニック 1人
筑波総合クリニック 1人	筑波総合クリニック 1人
悠翔会在宅クリニック川口 1人	悠翔会在宅クリニック川口 1人
川口並木クリニック 1人	川口並木クリニック 1人
前川クリニック 1人	前川クリニック 1人
鳩ヶ谷クリニック 1人	鳩ヶ谷クリニック 1人

計 18人 (3.0%)	計 18人 (2.3%)
<p>—介護施設等—</p> <p>介護医療院七里 2人</p> <p>グループホーム葉月 1人</p> <p>シニアケアセンター赤羽 1人</p> <p>ひだまりの郷 1人</p> <p>やさしい手 1人</p> <p>横曽根居宅 1人</p> <p>居宅介護支援事業所そら 1人</p> <p>川口訪問看護ステーション 1人</p> <p>鳩ヶ谷東部地域包括支援センター 1人</p> <p>その他 13人</p>	<p>—介護施設等—</p> <p>介護医療院七里 2人</p> <p>グループホーム葉月 1人</p> <p>シニアケアセンター赤羽 1人</p> <p>ひだまりの郷 1人</p> <p>やさしい手 1人</p> <p>横曽根居宅 1人</p> <p>居宅介護支援事業所そら 1人</p> <p>川口訪問看護ステーション 1人</p> <p>鳩ヶ谷東部地域包括支援センター 1人</p> <p>その他 13人</p>
計 23人 (3.8%)	計 23人 (2.9%)
総合計 604人	総合計 784人

医療（介護）連携見込み																					
<p>(増床前)</p> <p><b>【医療圏別割合】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>南部医療圏病院</td> <td>75.8%</td> </tr> <tr> <td>    (再)川口市立医療センター</td> <td>(27.6%)</td> </tr> <tr> <td>    (再)済生会川口総合病院</td> <td>(14.7%)</td> </tr> <tr> <td>その他埼玉県内病院</td> <td>13.7%</td> </tr> <tr> <td>他都道府県病院</td> <td>10.5%</td> </tr> </table>	南部医療圏病院	75.8%	(再)川口市立医療センター	(27.6%)	(再)済生会川口総合病院	(14.7%)	その他埼玉県内病院	13.7%	他都道府県病院	10.5%	<p>(増床後)</p> <p><b>【医療圏別割合】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>南部医療圏病院</td> <td>75.8%</td> </tr> <tr> <td>    (再)川口市立医療センター</td> <td>(30.7%)</td> </tr> <tr> <td>    (再)済生会川口総合病院</td> <td>(17.0%)</td> </tr> <tr> <td>その他埼玉県内病院</td> <td>12.9%</td> </tr> <tr> <td>他都道府県病院</td> <td>11.3%</td> </tr> </table> <p>増床前と増床後での医療連携先の病院等においては大きな変化はないが、紹介元の急性期病院の病床確保に繋げるため、現状発生している待機患者の受入れを促進し、在宅復帰及び介護老人保健施設など施設と密な連携を行</p>	南部医療圏病院	75.8%	(再)川口市立医療センター	(30.7%)	(再)済生会川口総合病院	(17.0%)	その他埼玉県内病院	12.9%	他都道府県病院	11.3%
南部医療圏病院	75.8%																				
(再)川口市立医療センター	(27.6%)																				
(再)済生会川口総合病院	(14.7%)																				
その他埼玉県内病院	13.7%																				
他都道府県病院	10.5%																				
南部医療圏病院	75.8%																				
(再)川口市立医療センター	(30.7%)																				
(再)済生会川口総合病院	(17.0%)																				
その他埼玉県内病院	12.9%																				
他都道府県病院	11.3%																				

	い、円滑な病床運営を進める。
--	----------------

ウ. 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能区分	病床種別	入院基本料/特定入院料	平均在院日数	病床利用率
4階	50床	回復期	一般	回復期リハビリテーション病棟入院料	62日	93.9%
5階	50床	回復期	一般	回復期リハビリテーション病棟入院料	76日	99.3%
6階	34床	回復期	一般	地域包括ケア病棟入院料	42日	62.1%

※ 平均在院日数及び病床利用率は直近3カ月（R6年7月～9月）の平均実績値

診療科 リハビリテーション科、整形外科、内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌内科、消化器内科、脳卒中内科、歯科

診療実績

区分	回復期リハビリテーション病床	地域包括ケア病床
病床利用率	96.6%	62.1%
1日平均入院患者数	96.6人	21.1人
在宅復帰率	89.8%	83.7%
平均在院日数	69日	42日
重症者割合	35.3%	—
疾患別リハビリテーション割合	脳血管 60.2%	—
	運動器 32.7%	
	廃用性 6.1%	
	心疾患 1.0%	

※ データは直近3カ月（R6年7月～9月）の平均実績値

エ. 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

回復期リハビリテーション病床においては、急性期病院が救急患者或いは重症患者を受け入れるための病床確保に繋げるため、後方支援病院として円滑な患者受け入れが必要であるが、現状での回復期リハビリテーション病床の病床数（100床）では待機患者や受け入れ困難患者が発生している。今後はこれまで以上に当院の病床管理を徹底することと、回復期リハビリテーション病床を40床拡大することで、より円滑な患者受け入れを進めていく。そのためには、回復期リハビリテーション病床から自宅への復帰を推進すると共に、介護老人保健施設や介護医療院などを含めた在宅系の施設とも密な連携を図り、南部地域単位での円滑な病床運営を進める。

オ. 病院整備計画スケジュール

項 目	計画年月	備 考
開設	令和5年8月	R6年4月115床 R6年5月130床 R6年8月134床
医療従事者の確保	令和7年3月	残り46床に係る人員確保
医療法使用許可	令和7年3月	残り46床に係る使用許可
増床完了	令和7年4月	